

## 『2023年度 総会・第1回研究会のお知らせ』(最終案内)

会員の皆様には益々ご健勝のことと存じます。

さて、ご案内のとおり、全国大学音楽教育学会 関東地区学会 総会・第1回研究会を、下記のように開催いたします。奮ってご参加くださいますようご案内申し上げます。

### 記

## 2023年度テーマ これからの子どもの教育と音楽 ～子どもの表現を保育現場と養成校の立場から再考する～

- 1 日時 2023年6月17日(土) 13:00～16:45
- 2 会場 ヤマハ株式会社(東京高輪)地下会議室 港区高輪2-17-11 TEL:03-5488-6611  
(都営地下鉄浅草線 泉岳寺A3出口右へ徒歩1分)
- 3 日程
- |             |  |
|-------------|--|
| 12:30～13:00 | 受付   |
| 13:00～13:30 | 総会   |
| 13:40～15:10 | 講演 吉永早苗氏(東京家政学院大学教授・副学長)<br>「子どもの姿から学ぶ」保育者養成校における領域「表現」の授業<br>～音楽の先生へのメッセージ～ |
| 15:10～15:30 | 質疑応答   |
| 15:45～16:45 | 研究発表   |
- (1) 学生自ら楽しむ音楽表現を目指して一演習科目「初等音楽」での実践事例—  
氏家史人(日本体育大学)
- (2) わらべ歌『はないちもんめ』の比較から見えてくるもの  
岡村弘(個人会員)、本野洋子(東京福祉大学短期大学部)

**総会開催のため、同封の出欠葉書の返信を6/7必着でお願いいたします。**

**欠席される方は委任状に捺印の上ご投函ください。また、名簿記載に変更がある方もお知らせください。**

- 4 研究会参加費 会員1000円 一般参加1500円
- 5 情報交換会 17:00～19:00 会場:未定 会費:5000円(税込)程度

**★役員会を10:00より行います。役員の方にはご参集ください。**

## 【講演要旨】

### 「子どもの姿から学ぶ」保育者養成校における領域「表現」の授業 ～音楽の先生へのメッセージ～

吉永早苗（東京家政学院大学教授・副学長）

- 「どいーじゃー、どいーじゃー」と声を出して遊ぶ2歳のIくんの手にはミニカーがありました。このミニカーは、何だと思いますか？
- リズミカルに「ケーキ屋さんは滑り台の後ろにあります」と唱えながら歩く6人組の女児の足取りが、ある箇所ですら毎回不安定になっていました。それはなぜだと思いますか？
- 『夕焼け小焼け』の歌唱に、「繋いで（滑らかに）歌った方がいい感じがする」「なんだか寂しい気持ちになった」と保育者に5歳児が話す背景には、どのような体験があったのでしょうか。

子どもは、私たちが考えている以上に、身の回りの人の声やモノの音、あるいは自分がつくり出す音（声）をしっかりと感受し、遊びのなかで表現しています。音楽表現においても、保育者のちょっとした工夫が刺激となり、感受が深まり表現に工夫が生まれます。今回の講演では、子どもの音感受・音楽表現する姿を通し、保育者養成校における領域「表現」の授業づくりについて、皆様と一緒に考えてみたいと思います。

## 【研究発表要旨】

### (1) 学生自ら楽しむ音楽表現を目指して一演習科目「初等音楽」での実践事例一

氏家史人（日本体育大学）

本研究は、本学児童スポーツ教育学部3年で開講される通年科目「初等音楽」での授業実践である。この授業の初めに、子どもたちにどんな音楽の授業がしたいかを尋ねている。学生の多くから「子どもたちが楽しんでくれて、音楽を自由に感じることでできる授業」という趣旨の答えが返ってくる。そして、授業の最後には「自分たちが楽しんで表現しないと、子どもたちも楽しめないのでは」とリフレクションする。

この科目の到達目標の一つに「歌・言葉・遊び・動き・リズム等を活用した音楽表現ができる」と設定している。そこで、音楽表現を複数の方法で学習・体験し、それらの経験から子どもたちが楽しむには何が大切で、どのような準備や配慮が必要なのかについて、学生自ら実感することのできる音楽表現を目指している。今回はその実践事例の一部を発表する。

### (2) わらべ歌『はないちもんめ』の比較から見えてくるもの

岡村弘（個人会員）

本野洋子（東京福祉大学短期大学部）

わらべうたとは「日本の伝統文化としての歌を伴う伝承遊びであり、子どもの日常生活の遊びの中で創造、継承されるものである。（安藤 2017）。」とされているが、地域差に関してはどのようにとらえればよいのであろうか。

本発表者は『日本わらべ歌全集』（柳原出版 1979-1992）に掲載されているわらべうたの中で、比較的多くの

都道府県にまたがって採譜された同じ原曲とみられる『はないちもんめ』に着目した。そこには 1980 年代頃の時点での各地域での『はないちもんめ』の楽譜が掲載されており、各地域によってどのように歌われていたのかを知るよい資料となると考えた。この曲は今でも幼稚園・保育園で歌われており、発祥は昭和の初め京都あたりということであり、最初は京都弁で歌われていたものであろうが、それが、各地方に広がり、時代を経て変化していったと考えられている。

本発表では歌詞の共通(もしくは類似)する部分を取り上げてメロディー、リズム、音高等を比較しながら、わらべうたとはいかという点について、地域差の観点から考えていきたい。

♪♪

## 《お知らせ》

★第 38 回全国大会(東京大会)を開催いたします。

研究演奏 ルーテル市ヶ谷ホール 8月24日(木)

研究会 KKRホテル東京 8月25日(金)・26日(土)

全国大会〈東京大会〉において、研究口頭発表・研究演奏発表の枠がまだございます(5/15現在、口頭発表 11 枠、演奏発表 2 枠)。研究演奏発表は先着順 20 組に達したため申込受付は終了しました(5/19)

学会ホームページにあります、第 38 回全国大会〈東京大会〉特設ページにて、応募状況も確認できるようになっております。また、応募要項も掲載してあります。

是非とも奮って応募いただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

会員早割参加申し込みは、6月10日(土)、最終参加申し込みは、7月31日(月)となっております。お忘れのないよう申し込みをお願いいたします。

全国大会の振込について、ゆうちょ銀行以外の銀行から振込む場合、

「当座 〇一九(㉓) (1) 1) (1) 〇店 0583389 全国大学音楽教育学会関東地区学会」

金融機関によって払込の名称の文字数が異なるので、氏名を把握するために、お名前を先に入力してください。

以上、学会 HP 特設ページにてご確認ください。

★各地区の研究会情報等、全国大学音楽教育学会 HP でご確認ください。 <http://nacome.com/>